



2020年1月発行
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 奥村
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111 (内線 209)
 FAX 0573-25-7129
 MAIL q02042@govt.pref.gifu.jp

1年間のまとめの時期になりました

新しい年が始まり、もう、1か月が過ぎようとしています。今年も、家庭が子どもたちにとって温かく最高の居場所となることを願っています。

さて、今年度の家庭教育学級の計画もあと少しとなり、1年間のまとめの時期になりました。活動の最後となる閉級式が、保護者の皆様にとって1年間の成長を感じられる内容となるよう、「役員の引き継ぎ」に向けてまとめましたので、ご活用ください。

閉級式の役員引き継ぎに向けて、 チェック表で振り返ってみましょう！

<input type="checkbox"/>	開催日時や会場は、保護者が参加しやすく、適切な設定がされていなかったか。
<input type="checkbox"/>	学習内容は、「親学びのある」内容や「保護者が元気になる」内容でしたか。
<input type="checkbox"/>	学習内容は、役員、先生、その他関係者と十分相談して決定できましたか。
<input type="checkbox"/>	学習形態を工夫しましたか。「学校行事型」「体験活動参加型」「講演会型」「子育てサロン型」「在宅取組型」を、組み合わせたり合同開催したりする工夫
<input type="checkbox"/>	進行役を務めた人は、話しやすい雰囲気づくりを大切にしましたか。
<input type="checkbox"/>	学習内容に応じた講師（指導者）を選ぶことができましたか。また、講師依頼はスムーズに行えましたか。
<input type="checkbox"/>	参加者の反応をつかむことができましたか。
<input type="checkbox"/>	参加意欲をもってもらえる開催案内や学習のまとめなど、積極的な広報活動をすることができましたか。
<input type="checkbox"/>	「家庭教育学級運営マニュアル」や「みんなで子育て 家庭教育プログラム」を活用することができましたか。
<input type="checkbox"/>	「話そう！語ろう！わが家の約束」運動につなげる工夫ができましたか。

このチェック表を活用して、来年度の役員の方に、
具体的に内容をつたえられるといいですね。



役員の引き継ぎにちょっと工夫！



① 今だから話せます…

引き受けた時の不安な気持ちや失敗談を話してみませんか。一人で抱え込まないで、チームで進めることをアドバイスできたらいいですね。どんな取組も次につながる学びになることを伝えてください。

話すのが苦手！ → 引き継ぎ原稿をもとに、担当の先生からアドバイスをいただきました。
一人では大変！ → 役員メンバーと相談して仕事を分担しました。文書を作る時はパソコンの得意な人、便りのイラストは絵が得意な人をお願いしました。

② 家庭教育学級リーダーの仕事は…

1年前、自分が知りたかったことを伝えましょう。県作成の家庭教育運営マニュアル、家庭教育プログラムの活用方法や、「家庭教育通信なう」の情報も、是非伝えてください。

- ・リーダーとしての役目について
 - ・年間計画の立て方について
 - ・講座開催の手続きについて
 - ・対外的な役割について
- PTA 連合会
家庭教育学級リーダー研修会 等

※東濃地区家庭教育学級リーダー研修会の予定

乳幼児期	令和2年5月19日（火）
	9：30～12：00 東濃西部総合庁舎
中学校	令和2年5月20日（水）
	13：30～16：00 東濃西部総合庁舎
小学校	令和2年5月26日（火）
	9：30～12：00 恵那総合庁舎

*1月時点の予定です。今後変更になる場合があります。詳しくは、4月当初に園・学校から配付される案内をご覧ください。

③ 来年度役員の方へエールを送りましょう…

大変けどやってよかったこと、1年間実践してきたからこそ分かったこと、来年度、是非取り入れてほしいことなど、今の思いを伝えましょう。

- ・子育てについて学ぶことができた。学んだことを実践してみて、わが家がよりハッピーになった。
- ・話したことがないお母さん達と話すことができた。親同士が仲良くなれた。
- ・学校（園）の先生と話しやすくなった。

④ 来年度の計画に子育てサロン型を…

家庭教育学級の中で小グループで交流することを「子育てサロン型」と言います。小グループは互いに顔を見合わせることで話しやすく、子育てのヒントや子育ての不安を交流することができます。

- ・保護者同士のつながりをつくりやすい。
- ・話すことで、悩みや不安の軽減、解消につながり、安心して子育てができる。
- ・話すことで分かったことを、子育てに活かすことができる。
- ・講演会や体験活動の後に小グループで交流する時間をとることで、学んだことが身に付く。



恵那市立上矢作小学校家庭教育学級 在宅取組型+体験活動参加型「おにぎりの日」

日時 令和元年12月14日(土) 10:10~11:05
場所 恵那市立上矢作小学校
参加者 全校児童と保護者役員

おにぎり作りを通して、親子のコミュニケーションが生まれる家庭教育学級

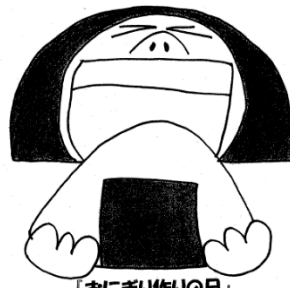


家庭教育委員の方と一緒におにぎり作り



1・2年生も
自分のおにぎりを
自分でにぎり
ました

12月14日(土)おにぎり作り



「おにぎり作りの日」

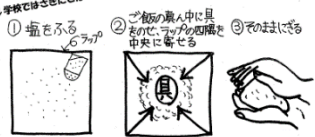
- ・5年生が収穫したお米を味わおう!!
- ・みんなと楽しくおにぎりを作ろう!!

上矢作小学校 家庭教育委員会

毎年行ってきた「おにぎり作りの日」。今年も、「なかよしグループ」のみんなとおにぎりを作ります。5年生が収穫したお米で、おいしいおにぎりを作りましょう!

ラップを使ったおにぎり作りです。作り方をのせませす。簡単な作り方なので、土・日などに練習してみるのもいいですね。

↓学校ではさきにごはんにませませす。



- 先に握るものは、握つた部分のご飯が外側になるので、少量でも塩味を感じるからです。
- 当日は「蒸フレック」「こんぶ」「梅干し」の具があり、好きなものを握ります。

おにぎり作りを家で練習することを家庭教育委員会のお便りで呼びかけました

上矢作小学校では、毎年、高学年の子が、地域の方に指導していただきながら、米作りを行っています。そして、その米作りで収穫したお米を使って、「おにぎりの日」の取組を行っています。全校児童が、学年縦割りのグループで、家庭教育委員の方の指導で、高学年の子が低学年の子を手伝ってあげながら、みんなでおにぎりを作ってグループで楽しく食べます。おにぎりの日に向けて、おにぎり作りを、家でも練習し、親子のコミュニケーションが生まれています。



縦割りのグループで楽しく食べます

主催者(家庭教育委員)の思い

- ・「おにぎりの日」を始めたのは、高学年の子が作ってくれたお米を、みんなでおいしくいただきたいと思ったからです。
- ・中学生になると、お弁当を自分で作ります。「おにぎりの日」に取り組んだことで、小学生のみなさんも、おにぎりを自分で作れるようになるといいなと思っています。

内容

- 9:00 家庭科室でご飯を炊く。海苔と塩と具(梅干し・昆布・鮭)の準備をする。
- 10:10 各教室で、手洗い・エプロン等の準備をする。
- 10:20 家庭教育委員からおにぎりの握り方を説明してもらう。自分のおにぎりを握る。
- 10:35 よくかんで、味わい、感謝の気持ちを込めてみんなで一緒に食べる。
- 10:45 片付け
- 10:55 感想を書く。

【このよさを学びたい!】

- ・高学年の子が収穫したお米でおにぎりを作ってみんなで一緒にいただくことで、「高学年の子」に対して、「指導して下さった地域の方」に対して、「握り方を教えて下さったおうちの方」に対して、感謝の気持ちが育つこと。
- ・「おにぎりの日」のために、おにぎり作りを家で練習することで、親子のコミュニケーションが深まること。
- ・「おにぎりの日」の後に、家族のためにおにぎりを作るという取組があり、家族のコミュニケーションがさらに深まる活動であったこと。

瑞浪市立土岐小学校家庭教育学級 在宅取組型「家族みんなで！ハグハグ習慣」

取組期間 令和元年12月26日(木)～1月7日(火)

参加者 全校親子

家族みんなで、子どもと触れ合う時間を大切にする在宅取組型家庭教育学級

土岐小学校母親委員会では、「話そう！語ろう！わが家の約束」運動として、冬休みを利用し、「家族みんなで！ハグハグ習慣」に取り組みました。取組のお知らせで、人はハグなど触れ合うことで「幸せホルモン」と呼ばれるオキシトシンが分泌され、愛情や信頼などの感情を呼び起こすことを伝えました。

「低学年の子は、自分から、『ギューして』とハグ」「高学年の子はちょっと照れてハイタッチ」等、学年らしさいっぱい、温かい家族の触れ合いが生まれました。

家族みんなで！ハグハグ習慣						
2年組 番名前()						
家族のルール 毎日ハイタッチをしてキュンとする。						
	12/26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)
1/1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)
	×	○	○	○	○	○
感想 毎日「ギュン」やハイタッチができてよかったです。またこのリズムをして、さあよく生活したいです。						
あうみの感想 二人に〇をつけたために「ギューしてー」と言いに来てくれて、おかしかった。良かった。ハグできるいいなあと思います。						

家族みんなで！ハグハグ習慣						
3年組 番名前()						
家族のルール 一日一回ハグをやる						
	12/26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)
1/1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)
	○	○	○	○	○	○
感想 毎日ハグできてよかった。お母さん、うれしかったです。気持ちよく、お仕事をしました。						
あうみの感想 毎日「ギュン」やハイタッチができてよかったです。またこのリズムをして、さあよく生活したいです。						

家族みんなで！ハグハグ習慣						
4年組 番名前()						
家族のルール 家族みんなでハイタッチ。						
	12/26(木)	27(金)	28(土)	29(日)	30(月)	31(火)
1/1(水)	2(木)	3(金)	4(土)	5(日)	6(月)	7(火)
	○	○	○	○	○	○
感想 毎日ハイタッチができたのが、たびです。						
あうみの感想 ほむほむ 元気な人と、お母さん、お父さん、みんな一緒に出来ること、ふん、やる事で、明るい気持ちになれたわ。						

「家族みんなで！ハグハグ習慣」の取組カード

主催者（家庭教育委員）の思い

- 市内の母親委員会において、家庭教育学級に全員参加ができないことについて交流した中で、在宅でも取り組める「ハグハグ習慣」に取り組むことにしました。今年で2年目になります。
- 各家庭でルールを決めて取り組み、家族で、子どもの成長と一緒に楽しんでほしいと思います。

内容

- 家族で過ごす時間に行います。
- できたら○、できなかったら×を記入します。
- 祖父母・父母・兄弟姉妹（だれでもOK）とハグやハイタッチなど、スキンシップをする各家庭のルールを決めます。
- 取組の感想を書きます。

【このよさを学びたい！】

- 家庭教育学級に参加できない保護者も、全員取り組むことができるよう、取組期間を、家族で過ごす時間が多くなる冬休み中にしたこと。
- ハグだけでなく、ハイタッチなど、家庭でルールを決めることで、取り組みやすくなり、低学年から高学年まで、スキンシップを大切にして家族のふれあいができたこと。
- 継続して取り組むことで、大きくなって、自然にスキンシップができるようになること。

感想

- かぜをひいてできなかった日もあるけど、ほとんどの日ができたのでよかったです。（3年子）
- 毎日ギューっとハグして、お母さんもうれしかったです。気持ちよくお仕事もできました。（3年家族）
- 毎日ハグができたのでよかったです。（5年子）
- 久しぶりにハグをしたら、子どもの身長が伸びていたのにびっくりしました。子どもに、「ママ、身長ちぢんだ？」と言われ、笑ってしまいました。たまにハグするといいですね。6年生もハグできることを楽しみにしています。（5年家族）
- できるだけケンカをしないで仲良くふれあって生活できてよかったです。（5年子）
- いつも以上にハグハグして過ごすことができました。高学年になって少し照れてしまっても、「宿題だしねー。」と言いながら楽しく過ごしました。（5年家族）